



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月19日

上場取引所 東

上場会社名 日本オラクル株式会社

コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>

代表者 (役職名) 代表執行役 (氏名) 金子 忠 浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 副社長 最高財務責任者 (氏名) 野 坂 茂

TEL 03-6834-6666

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	72,653	△2.2	19,466	△6.9	19,434	△7.2	11,912	△7.5
25年5月期第2四半期	74,319	11.6	20,902	15.0	20,948	15.1	12,874	19.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	93.73	93.68
25年5月期第2四半期	101.30	101.27

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	131,823	78,804	59.0	611.80
25年5月期	136,810	77,473	55.9	601.77

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 77,762百万円 25年5月期 76,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	84.00	84.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	92.00	92.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,500	8.1	46,800	9.7	46,900	9.3	29,000	9.5	228.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期2Q	127,109,971 株	25年5月期	127,098,571 株
26年5月期2Q	6,275 株	25年5月期	5,675 株
26年5月期2Q	127,094,949 株	25年5月期2Q	127,092,249 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

① 業績の概要

当第2四半期累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日。以下、「当四半期」）の売上高は72,653百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は19,466百万円（前年同期比6.9%減）、経常利益は19,434百万円（前年同期比7.2%減）、四半期純利益は11,912百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

当四半期の我が国経済は緩やかな回復基調にあり、お客様の投資意欲は改善しつつありますが、まだ模様が続いております。

② 報告セグメント別の状況

[新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション]

売上高は19,273百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、特定のソフトウェアやソフトウェア実行基盤をクラウド・コンピューティング環境でサービス利用型として提供する「クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」から構成されます。新規ライセンスの売上高は17,954百万円（前年同期比10.1%減）、クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションの売上高は1,319百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

新規ライセンスでは、ビジネス拡大に向けたIT投資や老朽化したITインフラの更新等に対するお客様の投資意欲は改善しつつありますが、前年同期の反動等もあり、減少いたしました。

平成25年7月にはデータベース製品の最新版「Oracle Database 12c」、アプリケーション・サーバーの最新版「Oracle WebLogic Server 12.1.2」、インメモリ・データグリッド製品の最新版「Oracle Coherence 12.1.2」、クラウド・アプリケーション基盤製品群の最新版「Oracle Cloud Application Foundation 12c」、中堅企業向けERP製品「JD Edwards EnterpriseOne」のインメモリ・アプリケーション、および公益業界向けアプリケーション製品「Oracle Utilities」の最新版を、8月には運用管理ソリューションの最新版「Oracle Enterprise Manager 12c」、9月にはモバイル対応を強化した「Oracle WebCenter」最新版、10月には基幹業務アプリケーション製品最新版「Oracle E-Business Suite R12.2」を提供開始いたしました。

クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションでは、製品・サービスの購入や利用過程において顧客が経験する価値である「カスタマー・エクスペリエンス」の向上を実現し、顧客満足度を高めるカスタマー・エクスペリエンス製品群が堅調でした。平成25年7月にはタレントマネジメント「Oracle Taleo Cloud Service」の最新版、10月にはソーシャルメディア管理アプリケーション「Oracle Social Relationship Management」、11月にはマーケティング活動の自動化を実現する「Oracle Eloqua（エロクア）」を提供開始いたしました。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は33,680百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様に対するサポートの価値訴求の推進やパートナー様との協業を推進し、新規ライセンスへのサポート装着率や既存サポート契約の更新率の維持向上を目指した施策を進めてまいりました。

[ハードウェア・システムズ]

売上高は11,277百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は6,450百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

エンジニアド・システム製品やストレージ製品が好調に推移いたしました。平成25年7月には「SPARC（スパーク） T5」プロセッサを搭載したエンジニアド・システム「Oracle SuperCluster T5-8」、8月には高速分析専用マシンの最新版「Oracle Exalytics（エクサリティクス） In-Memory Machine X3-4」、9月には仮想化統合基盤を実現するエンジニアド・システム「Oracle Virtual Compute Appliance」、10月には「SPARC M6」プロセッサを搭載した「SPARC M6-32」サーバーおよび同サーバーを搭載したエンジニアド・システム「Oracle SuperCluster M6-32」、オラクルのデータベース製品の運用効率を向上する「Oracle ZFS Storage ZS3」、磁気テープ記憶装置の新製品「StorageTek（ストレージテック） T10000D」、ならびにインテル Xeonプロセッサを搭載したx86サーバー製品群「Sun Server X4」を提供開始いたしました。

ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は4,827百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

[サービス]

売上高は8,421百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「マネージド・クラウドサービス」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」から構成されております。

マネージド・クラウドサービスの予防保守サービスがエンジニアド・システム向けのサービスを中心に好調に推移し、また、コンサルティングサービスも堅調に推移いたしました。エデュケーションサービスにおいては、最新のデータベース製品「Oracle Database 12c」に対応した研修コースを平成25年9月に、技術者認定資格試験を11月に、それぞれ提供開始いたしました。

＜報告セグメント別売上高の状況＞

区分	平成25年5月期 第2四半期		平成26年5月期 第2四半期			平成25年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前期 比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	19,965	26.9	17,954	24.7	△10.1	44,852	29.3
クラウド・ソフトウェア・ サブスクリプション	1,222	1.6	1,319	1.8	7.9	2,707	1.8
新規ライセンスおよびクラウド・ ソフトウェア・サブスクリプション	21,187	28.5	19,273	26.5	△9.0	47,560	31.1
アップデート&プロダクト・サポート	33,889	45.6	33,680	46.4	△0.6	67,109	43.8
ソフトウェア関連	55,077	74.1	52,954	72.9	△3.9	114,669	74.9
ハードウェア・システムズ・プロダク ト	6,098	8.2	6,450	8.9	5.8	12,370	8.1
ハードウェア・システムズ・サポート	4,984	6.7	4,827	6.6	△3.1	9,831	6.4
ハードウェア・システムズ	11,082	14.9	11,277	15.5	1.8	22,202	14.5
サービス	8,160	11.0	8,421	11.6	3.2	16,276	10.6
合計	74,319	100.0	72,653	100.0	△2.2	153,148	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

(2) 業績予想に関する定性的情報

平成25年6月27日に発表いたしました平成26年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,463	73,666
受取手形及び売掛金	19,522	13,249
商品及び製品	0	0
短期貸付金	42,200	—
その他	3,084	3,193
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	94,267	90,107
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,314	13,373
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,216	1,296
有形固定資産合計	40,587	40,727
無形固定資産		
投資その他の資産	19	12
その他	1,940	981
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,935	976
固定資産合計	42,543	41,716
資産合計	136,810	131,823
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,359	7,699
未払金	3,722	3,260
未払法人税等	9,061	7,478
前受金	32,474	31,217
賞与引当金	1,754	1,509
その他の引当金	327	318
その他	1,547	1,528
流動負債合計	59,246	53,011
固定負債		
その他	91	7
固定負債合計	91	7
負債合計	59,337	53,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,304	22,322
資本剰余金	5,654	5,672
利益剰余金	48,558	49,794
自己株式	△25	△27
株主資本合計	76,491	77,762
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10	—
評価・換算差額等合計	△10	—
新株予約権	992	1,041
純資産合計	77,473	78,804
負債純資産合計	136,810	131,823

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	74,319	72,653
売上原価	38,053	37,805
売上総利益	36,266	34,848
販売費及び一般管理費	15,363	15,381
営業利益	20,902	19,466
営業外収益		
受取利息	36	32
有価証券利息	0	—
その他	18	2
営業外収益合計	54	35
営業外費用		
その他	8	66
営業外費用合計	8	66
経常利益	20,948	19,434
特別利益		
新株予約権戻入益	69	24
特別利益合計	69	24
特別損失		
投資有価証券売却損	—	8
事業構造改善費用	182	126
特別損失合計	182	135
税引前四半期純利益	20,836	19,323
法人税等	7,961	7,411
四半期純利益	12,874	11,912

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	20,836	19,323
減価償却費	663	668
株式報酬費用	70	79
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△551	△244
その他の引当金の増減額(△は減少)	0	△8
受取利息及び受取配当金	△40	△35
投資有価証券売却損益(△は益)	—	8
固定資産除売却損益(△は益)	7	38
売上債権の増減額(△は増加)	4,854	6,272
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	△0
その他の流動資産の増減額(△は増加)	117	△124
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,828	△2,660
未払金の増減額(△は減少)	△312	△367
前受金の増減額(△は減少)	2,182	△1,256
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△66	△27
その他	△33	△6
小計	24,895	21,659
利息及び配当金の受取額	29	49
法人税等の支払額	△8,726	△8,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,198	12,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△106	△928
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△0	—
投資有価証券の売却による収入	52	110
貸付金の回収による収入	—	42,200
定期預金の預入による支出	△39,000	△60,000
定期預金の払戻による収入	23,000	6,000
差入保証金の差入による支出	△9	△0
差入保証金の回収による収入	34	1,183
資産除去債務の履行による支出	—	△433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,028	△11,867
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	30
自己株式の取得による支出	△1	△2
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△9,538	△10,681
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,539	△10,653
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,370	△9,796
現金及び現金同等物の期首残高	23,493	23,463
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,123	13,666

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	アップデート &プロダクト・サポート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,187	33,889	11,082	8,160	74,319	—	74,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,187	33,889	11,082	8,160	74,319	—	74,319
セグメント利益	3,062	17,931	583	1,748	23,326	△2,423	20,902

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,423百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	アップデート &プロダクト・サポート	ハードウ ェア・シ ステムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,273	33,680	11,277	8,421	72,653	—	72,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,273	33,680	11,277	8,421	72,653	—	72,653
セグメント利益	1,713	17,700	628	1,779	21,822	△2,355	19,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,355百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前第3四半期会計期間より、従来の「ソフトウェア・ライセンス」を「新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」に名称変更いたしました。なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の名称を用いております。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。